

## 2019 秋山 栗駒山 (1623m) 山行報告

くりこま高原=いわかがみ平⇒(東栗駒コース)⇒栗駒山⇒(産沼コース)⇒須川高原温泉(泊)  
(注)「地獄谷・昭和湖方面がス高濃度立ち入り禁止」で、須川コース通行禁止。

☆日程：9月30日(月)～10月1日(火) 1泊2日

☆行程：

1日目：東京7:16=はやぶさ101号=9:11くりこま高原  
くりこま高原駅9:15=(ジャンボタクシー)=10:15いわかがみ平(1100m)

☆コースタイム報告

9月30日(月)：東栗駒コース～産沼コース～須川高原温泉 実働歩行時間6時間35分  
いわかがみ平10:30⇒(東栗駒コース)⇒12:30東栗駒山12:35⇒13:25中央コース合流13:27⇒  
13:40栗駒山(1627m)－昼食－14:20⇒15:12笹森コース分岐(産沼)15:20⇒16:32苔花平⇒  
17:05須川高原温泉(泊)

(日帰り組)コースタイムは推定です。栗駒山13:10⇒須川高原温泉15:20  
(入浴後、16:35の路線バスで帰途)

・志波姫タクシー：TEL0228-25-3333 ・須川高原温泉：TEL0191-23-9337

10月1日(火)：2日目は宿周辺を散策後、ジャンボタクシーで平泉観光。

須川温泉8:10⇒(周辺散策)⇒須川温泉8:50

須川温泉9:00=平泉観光(達谷窟たっこくのいわや・巖美溪・毛越寺・中尊寺)=一ノ関駅14:10着

☆アクセス：往復新幹線を利用。

往路：東京7:16=はやぶさ101号=9:11くりこま高原9:15=(タクシー)=いわかがみ平10:15

復路：一ノ関16:48=はやぶさ110号=18:56東京

☆参加者(敬称略9名)：三浦(L)、加田(SL)、伊藤、上島(会計)、池田、市川、松山(7名)  
(日帰り2名)中野、生田目

(山行感想記)

9月下旬になっても残暑が厳しく、天候が不安定な日々が続き、山行実施直前では現地は雨模様の予報でした。8月の槍ヶ岳、9月の至仏山が雨で中止となり、栗駒山の天気も紅葉時期も心配でした。ここは三浦幹事の決断で実施を決定。大正解でした。数日前になり天候が好転し、快晴の予報に心が浮き立つ。

東北新幹線に夢をのせて、くりこま高原駅に降り立つ。ジャンボタクシーの荒い運転にやや戸惑いながらも定刻にいわかがみ平着。

快晴の栗駒高原はまさに登山日和。山頂付近の展望を求めて、いわかがみ平を 10:30 出立。

しばらくは岩のある展望のない足場の悪いコースを黙々と登る。空は青く、陽光が強い。途中アルミ製のハシゴ（脚立）を 3 つ登り、突然視界が開けた。森林限界で東栗駒コースの大パノラマが始まる。

前方には東栗駒山の岩場が。そして左前方にはたおやかな栗駒山がおわします。両方の裾野にはブナ、ミズナラ、カエデ、ナナカマドなどの赤やオレンジ、黄色がとても見事です。紅葉は見頃を迎えたばかりですが、とても素晴らしい光景でした。秋田、岩手、宮城の 3 県にまたがる栗駒山が 1 年で一番あてやかな季節を迎えた。

「栗駒山の紅葉の美しさは日本一とも言われ、山岳紅葉では穂高連峰の涸沢に勝るとも劣らぬ日本屈指の絶景」と言われます。まさに日本一と呼び声高い「神の絨毯」です。

紅葉の中を歩き、東栗駒山 1433.5m に 12 時 30 分着。裏掛コース分岐の先で小休止し、シャリバテにならないよう私は軽い昼食。しかしこの先山頂までの 800m の上りが正直辛かった。斜度は上がり段差のある道を頑張ると、13 時 25 分中央コースと合流した。ここから更に 15 分くらいか。13 時 40 分、栗駒山山頂に登頂。

山頂（標高 1626.5m）からの 360 度の展望と紅葉をしっかりと堪能しました。晴れて空気が乾燥した時期ならば、月山や鳥海山、そして岩手山が見えるという。

14 時 20 分、下山開始。笹森コース分岐に 15 時 12 分着。コース上の直ぐ側に「産沼」があり水面を陽光が照らす。左手を見上げれば、紅葉の絨毯と青空。ここからはコースタイム 1 時間で温泉だ。

ところがまだまだ段差のある岩の間を下りてゆくと、大きな沢に出た。ここが三途の川。無事渡って苔花平（たいかだい）に 16 時 32 分着。日の入りは 17 時 30 分だ！と気を引き締め、名残ヶ原の木道、ここは尾瀬ヶ原だといながら、通過。やっと須川温泉の宿と源泉が見えてきた。17 時 5 分、須川高原温泉に到着。

歩数計 22624 歩、想定以上に長いコースでした。日頃の運動不足が堪えた山行でしたが、好天と紅葉と展望に恵まれた秋山でした。

田中澄江は「花の百名山」の一つに栗駒山を選び、ヒナザクラ（初夏）を推した。今回は秋なのですが、エゾオヤマリンドウがあちこちで沢山咲いていました。下山途中では、ミヤマアキノキリンソウ、シラタマノキ、シロバナトウウチソウと出会いました。イワカガミなど高山植物にたくさん出会える初夏～夏に再訪したい栗駒山です。

最後に「須川高原温泉」の感想を一言。日本でも非常に稀な強酸性のみょうばん緑ばん泉です。源泉は 50.5 度で、ph 値 2.2。「日本秘湯を守る会」会員です。大浴場も良かったですが、露天風呂も広く、青緑色の温泉が秋の朝日に美しく、入浴はとても心地よい温度でした。

（10 月 1 日、平泉観光感想記）

9 月 30 日に栗駒山の「神の絨毯」を満喫した宿泊組は、7 名の総意で 10 月 1 日に「平泉」観光をすることを決定。前日利用の志波姫タクシーのジャンボタクシーの予約も出来、安心して就寝。

9 時にタクシーは須川温泉出発。達谷窟（たっこくのいわや）・巖美溪・毛越寺・中尊寺の順に観光を楽しむ。この日もかなり暑く、タクシー巡回が嬉しい。

私は初めての平泉来訪でしたので、とても幸運でした。まさか一ノ関のすぐそばに平泉があるとは思いませんでした。世界遺産の金色堂はやはり圧巻でした。

一ノ関駅まで戻って、遅い昼食をし。当初より 2 時間早い新幹線で帰途につきました。歩数計 16578 歩。参加の皆様、お疲れ様でした。三浦さん、幹事をご苦労様でした。

（令和元年 10 月 5 日 文責：加田）